

## 被表彰団体および個人

## &lt; 環境大臣賞受賞者 &gt;

**団 体：盛岡天文同好会（岩手県）**

同会は、全国星空継続観察をはじめ、盛岡市内においてほぼ毎週星空を通した観望会を実施し、子どもたちへの環境教育の実践に取り組んでいる。さらに長年にわたり県内各地においてボランティアの星空観察会を開催し、大気保全の意義などを参加者に啓発するなど多角的な活動を続けている。市民のみならず自治体や企業にも積極的に働きかけを行い、地域の活動レベルの向上に努めている。

**個 人：松本 直弥氏（長崎県）**

大気保全、環境保全、星空継続観察、光害防止の各分野に貢献し、指導的役割を果たしている。全国星空継続観察の講師として、長年にわたり光害防止の啓発活動を行っているほか、惑星観察を通して地球環境問題への関心を高めるなど、地球環境に配慮した天体観察会や講演活動を行ない、環境保全意識の向上に努めた。また、市民にわかりやすい資料提供で活動を実践し、NPO法人を設立し、地域に根ざした活動を行っている。

## &lt; 「星空の街・あおぞらの街」全国協議会会長賞受賞者 &gt;

**団 体：善通寺こどもエコクラブ（香川県）**

同会は子どもたちが地域の中で主体的に環境学習や自然観測活動を通じ、地球環境の大切さについて学んでいる。大気保全についての独自の活動を行い環境全般に係る活動の中から環境保全活動を活発に行っている。特に大気環境を守ることに重要性をおき、全国星空継続観察への参加、樹木の働きを調べるなど大気を扱った取り組みを幅広く行っている。

**個 人：木下 恵介氏（熊本県）**

環境アドバイザーとして多くの市民に光害問題や大気環境保全の啓発と普及のために活動し、光害防止、大気環境保全啓発に貢献し、指導的役割を果たしている。また、（財）大牟田文化会館に勤務し、「天文クラブ」設立時から携わっているが、業務という枠を超えて自主的・積極的にクラブに携わり、多くの市民が気軽に参加できる天体観察の組織作りに尽力している。